会員各位

法政大学高等学校同窓会　議案の書面決議について

法政大学高等学校同窓会
会長　高村嘉昭
副会長・総会実行委員長
岡本眞司

新型コロナウイルス感染症の終息が見えないなか、対面式での同窓会総会の開催は残念ではありますが昨年に続き今年も見送らざるを得ない状況と判断しました。議案につきましては、役員会で協議した結果、書面決議とさせていただくことにいたしました。

つきましては、下記議案への賛否およびご意見、ご提案等があれば、同封のはがきにご記入のうえ、11月20日（土）までに同窓会事務局宛お送りくださいますようお願い申し上げます。

なお、結果のご報告およびご意見、ご提案等については同窓会ホームページ上にて後日回答いたします。

対面での開催が出来ず誠に残念ではありますが、諸般の事情を鑑みご理解ご了承のほどお願い申し上げます。

記

議案1.　2020年度事業報告および会計報告 …… p3
議案2.　2021年度事業計画（案）および予算（案） …… p4

以上

進取

法政大学高等学校同窓会 会報

2021年（令和3年）10月20日（水）第46号

発行所　法政大学高等学校同窓会
〒181-0002　東京都三鷹市牟礼4-3-1
Tel. 0422-79-6233　Fax. 0422-79-6262
https://www.hoseikd.jp
hoseimemory@ebony.plala.or.jp

発行人　高村嘉昭（同窓会会長）
編集人　大貫光伸（広報委員長）

同窓会憲章

法政大学高等学校同窓会は母校の伝統風土である「良き師、良き友、集い結べり」の精神を継承し、母校の校格向上を目的として一致協力して強力な支援体制を築きます。

さらに「母校の誇り、母校愛、母校への貢献」を共通理念として会員が一体となった活力ある組織を形成いたします。

母校への貢献・同窓との絆を強固に！

同窓会会長　高村嘉昭（高校18期／1966年卒）

総会の紙面開催にご理解を！

会員の皆様には総会を二年続きで同窓会報・進取の紙面で開催せざるをえなくなりましたこと、誠に申し訳なく、残念な気持ちでいっぱいです。

どうか状況をご理解いただきまして、引き続き変わらぬご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

コロナ禍で表立った活動は制約されますが、母校への貢献、同窓との絆を繋ぐ活動は揺らぐものではありません。

今回の会報を通しまして少しでも会員の皆様との交流を図り、来期は総会を開催できますように努力してまいります。

卒業生231名が同窓会へ入会！

高校の卒業式が3月13日に無事行われ231名（男性105名、女性126名）の卒業生を同窓会の新会員として迎えることができました。

卒業式は今年も卒業生、保護者1名、担任の先生ほか若干名の参加で行われました。厳かに挙行された式典は高校生活の思い出や将来への期待が駆け巡り、心に残る記念すべき一日になったことと思います。

卒業式の挙行に尽力された教職員、関係者の皆様に感謝と敬意を表します。

卒業生全員に同窓会名を刻んだ真空断熱ステンレスボトル「ココカフェ」を卒業記念品として贈りました。

また、クラス委員に選ばれた12名の方々には同窓会の資料を渡して今後の協力をお願いいたしました。

松浦麻紀子校長を同窓会名誉会長にお迎え！

松浦麻紀子先生が本年4月1日付けで法政大学中学高等学校の校長に就任されました。「お互いを思いやり、課題を話し合う創造的な人間を育てる」の理念のもとに岡稔彦前校長の後を引き継がれましたが、依然として猛威を振るうコロナ禍での学校運営の厳しさは想像するに難くないところです。

同窓会は松浦校長を名誉会長にお迎えし、万全の体制で協力の輪を広げてまいります。

なお、副校長には石川秀和先生が就任されました。

今年度の学校内は昨年に比べればだいぶ落ち着いてきた感じで、対面授業は例年に近い形に戻りつつあり、クラブ活動も時間の制限や対外活動に制約はあるものの練習できる環境は整ってきたようです。

ただ、以前のように喧噪さも交えた校内の活気はまだ感じられない状況とのことで、一日も早く日常が取り戻せますように願っています。

法政大学総長に廣瀬克哉教授が就任！

本年4月1日廣瀬克哉教授が法政大学総長に就任されました。

4月3日武道館で行われた2020年（昨年中止で一年遅れの開催）と2021年の入学式で田中優子前総長が掲げた法政大学憲章「自由を生き抜く実践知」を標榜して「厳しい制約がかかっている今こそ自分を磨ける最適の時期」とのメッセージを新入生に贈られました。

同窓生2名が法政大学理事に選任！

岡本眞司さん（高校18期）と長裕章さん（高校33期）の二人が4月1日付けで法政大学の理事に選任されました。

法政大学の運営を担う理事は総長以下14名ですが、内4名が卒業生から選任されます。母校から二名も選ばれるのは稀有の事で、高校・大学で学び、豊富な社会経験で培った力をHOSEIのために活かしていただければと願っております。

大学校友会の三大イベントは開催見送り！

法政大学校友会が今年開催予定の「オール法政 新年を祝う会」はオンライン版で開催し配信を実施しましたが、「オール法政ゴルフ大会 総長杯」は見送り、「全国卒業生の集い 栃木大会」は来年10月に、コロナ感染防止の観点から苦渋の対応となりました。

一方、理事会や代表議員総会は対面を避けてリモートや書面方式で行われるなど、事務局運営を含め支障なく行われています。

最後になりますが、同窓会憲章を共通理念として引き続き活動を続けてまいります。

会員の皆様におかれましては、コロナ、天候不順など厳しい状況が続きますが、健康に留意されてご活躍されますよう心よりお祈り申し上げます。

生徒の意見を尊重する学校づくり

法政大学中学高等学校　校長　松浦 麻紀子

コロナ禍の制約の中でも生徒たちはできることを考え友達から学んでいます。「自粛中／去年のアルバム広げると／海をバックに／笑顔の写真」これは２０２０年度中学２年生の創作短歌です。生徒たちは例年以上に真剣に級友の言葉に向き合って、教室で空間を共にする一瞬の尊さを強く感じ取っていたそうです。フレンドリーで思いやりがある本校生徒の特徴は、一中高時代からの気風だと私たち教員は感じています。

どんな学校ですかと聞かれたら「自分の頭で考え行動し、新しい社会を創る市民を育てることをめざす学校です」と答えます。例えば、18歳選挙権が実現し社会科の模擬投票の授業では、生徒達の言葉で論じあう過程を大切にしています。法政大学憲章「自由を生き抜く実践知」の精神を学び、新しい価値を作り出す力を育てることをめざします。

そのために大事にしているのが「人権」と「生徒の意見を尊重すること」です。まずは「自分は今のままで十分素晴らしいのだ」と絶対の自信を持つ自己肯定感を育てたいです。容姿、性格、勉強ができる／できない、スポーツができる／できない、誰を好きになるか、すべてあなたの個性、そのまま丸ごと素晴らしく、存在するだけでかけがえのないことだと思います。ありのままを認め合うことを大切にします。根っこには権威にこびず自ら考える法政の自由な校風があります。名もなき若者たちが創った法政大学の校風のもと、誰のことも傷つけないことを大切にしています。

２つ目の生徒の意見を尊重する活動が「三者協議会」です。生徒・教職員・保護者とで対等な立場で話し合います。高校生の白いポロシャツは生徒の要求から実現したもので、機能的でシンプルなデザインを考案しました。大人は生徒の意見をよく聞き、感じ一緒に身近な問題を考えます。今年度数年ぶりに再開します。

さらにコロナ禍だから立ち止まり、当たり前を見直す機会ととらえています。誰もが幸せに生きる権利を持っており、コロナや気候変動など、地球規模の危機を乗り越えるために必要なのは相手に打ち勝つ競争ではなく連帯です。子どもたちを生きづらくさせているものは何か真剣に向き合い、点数で追い求めるのではなく、５年先10年先を見据えます。

最後に、働き方です。主人公である生徒への責任として、本気で教員の仕事を断捨離する必要があると考えます。全部やりきってヘロヘロな顔で教壇に立つより、手を抜けるところは抜き、やることはやって、元気な顔で教壇に立った方が生徒によいと思います。教員が自分らしい人生を歩むことが、生徒の豊かな学びにつながります。私自身３人の子育てをして本校で働き続けられたのは皆様のお蔭です。我が子が不登校の時、同じ悩みをもつ保護者の方と一緒に学び合いそのお蔭で人生が豊かになりました。結婚する・しないに関わらず、一度きりの人生を家族や友人と共に歩むことが教育づくりに繋がります。

生徒、保護者の願いに応えることが学校の評価となり、やがて卒業生が社会を変える一役をになう誇れる学校になると思います。今後とも本校への応援よろしくお願いします。

2021年度 新卒クラス委員紹介（高73期）

法政大学高等学校同窓会
書面決議　議案

議案1

2020年度　事業報告および会計報告

（1）2020 年度　事業報告

2020年度の活動は、世界的規模で広がった新型コロナウイルス感染症という未曾有の災禍のなか、感染防止に向けた社会的な要請を踏まえ、計画していたイベント等、集合型の活動は会員の健康と安全を第一に考え、すべて中止・延期を余儀なくされました。

皆様とお会いしての活動は残念ながら開催することが出来ませんでしたが、このような中、同窓会規約の改定、憲章の見直し、ホームページのリニューアル、同窓会奨学金制度の制定等に着手し実施することができました。また卒業生へは記念品としてステンレスボトルをお届けしました。

具体的な活動は左記の通りです。

実施した活動

役員会の開催（4月11日、6月6日、7月11日、9月12日、12月12日、2月13日）

《2020年》
8月　同窓会報「進取」の発刊
（2020年度同窓会総会は「進取」の中で紙面総会として実施）
11月　同窓会ホームページのリニューアル

《2021年》
3月　高校卒業生へ記念品の贈呈
ご退任の岡稔彦校長を挨拶訪問

実施できなかった活動

《2020年》
4月　中学・高校入学式への参加
5月　中学・高校クラブコーチ懇談会への参加
法政プラタナス会総会への参加
一般社団法人法政大学校友会総会への参加
6月　同窓会ゴルフコンペの開催
9月　オール法政総長杯ゴルフコンペへの参加
10月　中学・高校「鈴掛祭」への参加
法政大学全国卒業生の集い「栃木大会」への参加
11月　三鷹市民駅伝の応援
ホームカミングデーへの参加

《2021年》
1月　同窓会新年顔合わせ会の開催
オール法政新年を祝う会への参加
法政大学付属高校同窓会役員懇談会への参加
法政大学経営者懇談会新年賀詞交換会への参加
2月　中学・高校卒業式への参加
3月　新クラス委員との懇談会

（2）2020 年度　会計報告

法政大学高等学校同窓会　2020年度収支決算書
（2020.4.1 ～ 2021.3.31）

法政大学高等学校同窓会
会員各位

監査報告書

2020 年度（2020 年 4 月 1 日～ 2021 年 3 月 31 日）、同窓会収支決算書の会計監査を 2021 年 7 月 23 日に実施しました。会計監査の結果、業務の執行および決算書類、会計処理は適正に実施されており、収支決算書は適正であることを認めます。

2021 年 7 月 23 日

会計監査　泉　智雄

会計監査　今泉　直樹

収入の部　（単位：円）

科目	項	2020年度予算	決算額 2021年3月末	備考
繰越金		2,260,910	2,260,910	
会費		4,680,000	3,386,219	
（イ）	入会金	1,666,000	1,617,000	￥7,000×231名
（ロ）	新入会員年会費	714,000	693,000	￥3,000×231名
（ハ）	年会費・寄付	1,400,000	1,076,219	既会員会費
（ニ）	その他会費	900,000	0	
雑収入		20,000	1,001,335	定期預金解約、預金利息
計		6,960,910	6,648,464	
（経常収入）		4,700,000	4,387,554	

支出の部　（単位：円）

科目	項	2020年度予算	決算額 2021年3月末	備考
経常費		1,740,000	1,505,027	
（イ）	学校協力費	500,000	284,691	卒業記念品
（ロ）	会議費	150,000	10,860	
（ハ）	組織活動費	400,000	525,000	新型ｺﾛﾅｳｲﾙｽ緊急奨学基金
（ニ）	印刷費	20,000	0	
（ホ）	通信費	50,000	7,673	メール便代、郵便代等
（ヘ）	人件費	510,000	540,000	事務局員手当
（ト）	事務用品費	10,000	3,694	賞状用紙、証書ホルダー等
（チ）	雑費	100,000	133,109	振込手数料、ｶﾌｽﾎﾞﾀﾝ購入代金
事業費		3,550,000	3,026,754	
（イ）	会報発行費	2,300,000	2,344,118	会報発行費
（ロ）	HP費用	250,000	644,600	ﾚﾝﾀﾙｻｰﾊﾞｰ費用・ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ接続料、ﾄﾞﾒｲﾝ更新料
（ハ）	総会、委員総会費	1,000,000	38,036	総会開催案内作成費、誌上総会返信はがき代
積立金	名簿作成積立金	200,000	0	名簿積立せず
予備費		200,000	0	HP変更費用、会報発送費、同窓会総会費予備予算(10万円)等
計		5,690,000	4,531,781	
次年度繰越金		1,270,910	2,116,683	
合計		6,960,910	6,648,464	
（経常支出）		5,690,000	4,531,781	

普通預金残高　¥2,116,467(三菱東京UFJ吉祥寺支店)／小口現金　¥216／定期預金(積立金)　¥1,000,878　(2021年3月31日現在)

議案2

2021年度 事業計画（案）および予算（案）

(1) 2021年度 事業計画（案）

2021年度の活動は、新型コロナウイルス感染症の収束の兆しがなかなか読めないなか、引き続き集合型の活動には制約が伴ってくるような状況にあると考えられます。したがって、前年度にリニューアルしたホームページを大いに利用し、オンラインによる会員の皆様との繋がりを図っていくような活動をしていきたいと考えております。

具体的な活動計画は左記の通りです。

1. 母校との協力体制の強化
2. 法政大学校友会並びに付属校同窓会との協力体制の強化
3. PTAとの協力体制の強化
4. クラス委員、クラブ委員との連携強化
5. 会員の顕在化
6. 年会費振込会員の増強と財政の安定化
7. ホームページを活用した活動の推進
8. 女子部の設立検討

以上を基本に、総務・財務・広報・組織拡充・事業の各委員会が協力して「明るく、楽しく、元気よく」をモットーに活動を進めていきたいと考えております。

（2）2021 年度　予算（案）

法政大学高等学校同窓会　2021年度収支予算書

（2021.4.1 ～ 2022.3.31）

収入の部　（単位：円）

科目		前年度予算	前年度実績	本年度予算	
	項	2020年度予算	2021年3月末	2021年4月～2022年3月	備　考
繰越金		2,260,910	2,260,910	2,116,683	
会　費		4,680,000	3,386,219	4,210,000	
（イ）	入会金	1,666,000	1,617,000	1,617,000	新卒業生入会金　7,000円×231名
（ロ）	新入会員年会費	714,000	693,000	693,000	新卒業生年会費　3,000円×231名
（ハ）	年会費・寄付	1,400,000	1,076,219	1,000,000	既会員会費、お祝い金、寄付等
（ニ）	その他会費	900,000	0	900,000	同窓会総会会費、新年顔合わせ会費等
雑収入		20,000	1,001,335	0	預金利息、グッズ売上
計		6,960,910	6,648,464	6,326,683	
（経常収入）		4,700,000	4,387,554	4,210,000	

支出の部　（単位：円）

科目		前年度予算	前年度実績	本年度予算	
	項	2020年度予算	2021年3月末	2021年4月～2022年3月	備　考
経常費		1,740,000	1,505,027	1,575,000	
（イ）	学校協力費	500,000	284,691	300,000	学校行事、生徒部活動援助、懸垂幕、卒業記念品代
（ロ）	会議費	150,000	10,860	10,000	会議諸費用、新年顔合わせ会、新卒クラス委員説明会
（ハ）	組織活動費	400,000	525,000	550,000	ゴルフ大会等の同窓会協賛広告費、付属校行事会費、大学関連団体行事費等
（ニ）	印刷費	20,000	0	10,000	封筒印刷代
（ホ）	通信費	50,000	7,673	10,000	会議開催通知郵便代等
（ヘ）	人件費	510,000	540,000	540,000	事務局員手当
（ト）	事務用品費	10,000	3,694	5,000	PC等諸事務用品、ファイル、各種印刷、ラベル用紙代
（チ）	雑費	100,000	133,109	150,000	振込手数料、各OB総会お祝金、慶弔費等
事業費		3,550,000	3,026,754	3,850,000	
（イ）	会報発行費	2,300,000	2,344,118	2,300,000	同窓会報発行費用・写真現像・プリント代
（ロ）	HP費用	250,000	644,600	650,000	レンタルサーバー費用・インターネット接続料
（ハ）	総会、委員総会	1,000,000	38,036	900,000	同窓会総会費用
積立金	名簿/奨学金積立	200,000	0	200,000	名簿積立せず　奨学金積立
予備費		200,000	0	100,000	HP変更費用、会報発送費、同窓会総会費予備予算（10万円）等
計		5,690,000	4,531,781	5,725,000	
次年度繰越金		1,270,910	2,116,683	601,683	
合計		6,960,910	6,648,464	6,326,683	
（経常支出）		5,690,000	4,531,781	5,725,000	

普通預金残高　¥2,116,467（三菱東京UFJ吉祥寺支店）/小口現金　¥216/定期預金（積立金）　¥1,000,878　（2021年3月31日現在）

お知らせ

2021年度　法政大学高等学校同窓会　役員名簿

役　職	氏　名	卒業期	備　考
名誉会長	松浦 麻紀子		法政大学中学高等学校校長
会　　長	髙村　嘉昭	18	
副 会 長	田邉　　勉	17	総務委員長兼務
〃	岡本　眞司	18	事務委員長兼務
〃	大貫　光伸	32	広報委員長兼務
〃	吉岡　郁典	〃	財務委員長兼務
〃	萩原　光博	37	
総務　委員長	田邉　　勉	17	副会長
総務副委員長	佐伯　利昭	26	
財務　委員長	吉岡　郁典	32	副会長
財務副委員長	金井　　実	35	事業副委員長兼務
広報　委員長	大貫　光伸	32	副会長
広報副委員長	佐藤　博之	33	
組織拡充　委員長	福地　達哉	〃	
組織拡充副委員長	押山　憲昭	〃	
〃	中村　健一	〃	
事業　委員長	岡本　眞司	18	副会長
事業副委員長	金井　　実	35	財務副委員長兼務
会計監査	泉　　智雄	3	
〃	今泉　直樹	19	

法政大学中学高等学校PTA・同窓会事務局　　野口　有紀
佐々木　千恵

「同窓会ゴルフコンペ」の開催延期について

恒例の同窓会ゴルフコンペは毎年9月に開催しておりましたが、昨年は新型コロナウイルス感染症の拡大により残念ながら中止いたしました。

今年こそはと準備を進めてきましたが、コロナの状況はワクチン接種の進行など明るい兆しも見えてはきているものの、変異株の拡大など依然として感染リスクは排除できない状況が続いております。

こうしたことを踏まえ、今年も9月の開催は「延期」せざるを得ないと判断いたしました。今後、コロナ禍の状況を注視しながら、来春3月頃の開催を目指して準備を進めたいと考えております。

開催日程等の概要が決まりましたら、ホームページ等を活用してご連絡いたしますので、何卒ご理解のうえご参加くださいますようお願い申し上げます。

皆様と楽しくゴルフを出来ます日が、一日も早く来ることを心より願っております。

（写真）前回大会の様子

開催日：2019年9月18日（水）
場　所：鳩山カントリークラブ

同窓会WEBサイトリニューアルのご報告

法政大学高等学校同窓会では、この度公式WEBサイトをリニューアルいたしました。

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の影響により学校活動・同窓会活動が大きく制限される中、同窓会の活動内容がわかるよう、各種ご報告やご案内、クラブ活動、OB会活動、行事、式典、会報など様々な情報を掲載しております。

また役員同士の連絡用コミュニティサイトも同時に作成し、直接集まれない状況でも連絡が取り合えるようにしております。

法政大学高等学校同窓会 WEB サイト

下記QRコードからアクセスできます。

《検索キーワード》
・法政高校同窓会
など

https://www.hoseikd.jp/

ご報告

「新型コロナウイルス緊急対策奨学基金」へのご支援のお礼

コロナ禍に対する生徒・学生への緊急支援のために昨年9月、オール法政で「新型コロナウイルス緊急対策奨学基金」を設立し、ご支援をお願いしましたところ、たくさんの皆様からご支援を賜りありがとうございました。

寄付総額は目標の200百万円を上回る204百万円となりました。

その中で、法政中・高等学校をご指定していただいたご寄付は1，632千円になりました。

皆様の母校への温かいお気持ちに対し改めて厚くお礼申し上げます。

なお、法政大学ではコロナ禍が長期化するなか、生徒・学生の学びを支援するための取り組みを継続して実施しております。

詳しくは、法政大学ホームページのリーディング・ユニバーシティー法政募金のなかに「新型コロナウイルス対策支援」の項目を設けましたので、ご参照のうえ、使途（詳細）→中高等学校とご指定いただき、引き続きのご支援を賜りますようお願い申し上げます。

HOSEI だより

OB・OGの通信報告

ラグビー部 活動報告

ラグビー部OB会 会長 川上 典純
副会長 能登 英明

2020年11月8日、本校グランドにて「第二回海翔カップ」を開催しました。

現役部員は昨年春からの新型コロナウィルス感染症拡大防止対策のため、春季大会や夏合宿の中止、日常の練習にも制限が付くなど、思うような活動が出来ない日々が続きました。そのような中、公式戦や合宿などラグビーに接することができなかった3年生とその保護者の皆様に、少しでも思い出を残してあげたいとの思いから、前回は夏季に現役・OBそれぞれが外部チームを招待したラグビー祭を開催しましたが、今回は卒部試合も兼ねた法政・日大二高・農大一高の三校によるセブンス（7人制）大会を企画しました。

現役の部員が、今できることや今やるべきことに対して一生懸命に取り組む姿勢を尊重し、出来る範囲で検討を重ね、感染防止対策を徹底し、各校選手・スタッフ・保護者とOB会役員のみ参加しての午前開催となりました。三つ巴戦の試合では、グランドを縦横無尽に走る選手たちや、互いのチームをサポートするマネージャーやスタッフ、選手の勇姿を熱心に応援する保護者の声援など、各人のラグビーへの熱い思いが伝わってきました。

閉会式では各チームへ賞状とトロフィーが授与され、短い時間でしたが、参加された各校関係者の笑顔が印象的だった一日でした。終了後、現役部員へ卒業記念としてファーストジャージを進呈しました。

このイベントの前に行われた秋の全国大会予選は今季初の公式戦となりました。合同チーム（法政、日大二高、三鷹中等教育）の一員として、一回戦は都国立に勝利し、二回戦はシード校の明大中野を相手に敗退したものの、コロナ禍の中で練習さえ満足に出来ない日々を過ごしてきた3年生選手7名とマネージャー2名の戦いは、「最後まで諦めない」という強い思いを、次世代にしっかりと伝えることができたと確信しています。

今年度に入り新人戦は中止となりましたが、春季大会は合同チームとしてリーグ戦形式で開催され、2戦2勝の戦績を残しました。

また、今春は新入部員選手8名とマネージャー4名が入部、部員減少が続いていた中、たくさんの元気な新入部員を迎えたことで、現役部員・スタッフ・保護者・OBが一丸となって全国大会を目指す単独チームとして復活していく手ごたえを感じています。

これからもOB会は、ラグビー憲章にある「品位」「情熱」「結束」「規律」「尊重」という理念をより大切にし、現役チームへのサポートを強化するとともに、創部70年を超えて100年、150年という未来に向けて更なる発展を目指し、当部の伝統を次世代に着実に伝えていけるように取り組んでまいります。これからもご支援・ご声援の程よろしくお願い申し上げます。

卒業生が経営するお店を紹介します

福地達哉（1981年卒・33期）

『割烹　甲州』

店主 新荻　徹さん（1981年卒・33期）

《アクセス》

東京都練馬区練馬1-29-13

都営地下鉄大江戸線・西武池袋線「練馬駅」から徒歩4分

1981年3月に法政大学第一高等学校を卒業した店主は、大学に進学せずに料理の道へ。10年近く住み込みの下積みを経て、結婚を機に実家の『甲州』へ。爾来30年包丁を握っています。家族経営の、アットホームな雰囲気のお店です。

『卒業したら料理人になるから、大学には行かないんだ』と話していた割には、案外成績も良く、楽しく充実した高校生活を過ごされていた様子ですが、進学をしなかったため同級生とは20数年連絡を取れずじまいも、山岳部の会合だけは参加していた事もあり、五十路手前から同期の集りに参加、会場の提供をしてくれています。

同期会の集まりは、いつも予算以上の飲食が発生し迷惑も掛けてしまうので、当会の参加条件の会費欄には『飲んで食っただけ』が金額として掲載されています。

サービスの良いお店で、4名様の個室から60名様までの大広間があります。是非ご利用ください。

（写真）2016年に甲州で開催された33期会の様子

同窓生2名が法政大学の理事に就任されました

（関連記事、P1の会長ご挨拶文をご参照ください）

長　裕章さん
1962年生　59歳

1981年（33期）
法政大学第一高等学校卒業
1985年
法政大学経済学部卒業
元 ㈱三菱UFJ銀行
常務執行役員
現 ㈱ジェーシービー
代表取締役専務執行役員

岡本眞司さん
1948年生　73歳

1966年（18期）
法政大学第一高等学校卒業
1970年
法政大学経営学部卒業
元 ㈱千葉銀行取締役
元 ちばぎんディーシーカード㈱
代表取締役社長
元 ちばぎんハートフル㈱
代表取締役社長

お二人のご活躍を祈念いたします

活躍するOB訪問

村山元春さん

法政一高 1966年卒業・第18期
株式会社マテリアル取締役

はたして鑑定やいかに？「オープン・ザ・プライス」司会の今田耕司さんの声が響き渡ります。テレビ東京の人気番組『開運！なんでも鑑定団』（毎週火曜日夜8時54分、BS毎週木曜日夜7時55分放映）、皆さんも一度はご覧になったことがあるのではないでしょうか。この番組で木材・木工ジャンルの鑑定士を務めるのが村山元春さんです。今日は会社にお伺いしお話をお聞きしました。

生い立ちをお聞かせいただけますか――

実家は江東区木場で、代々木材問屋を営んでいました。私は3人の兄と2人の姉の6人兄弟の末っ子として、1947年（昭和22年）に北海道で生まれました。家業が北海道材を扱う関係で、父が戦時中、北海道に日高紋別富川軍需工場を設立し、北海道に住んでいた時期がありました。私は終戦後に当地で誕生しましたが兄姉の中では私だけが北海道で生まれました。その後、木場で木材問屋業を再開するため、私が3歳の時に木場に戻り、それから20歳までの青春時代を木場で過ごしました。

法政一中に入学されたきっかけは――

2人の兄が法政に入学していて、自分の意思に関係なく、なんと母が願書を提出しており、私は入学試験の数日前に受験を聞かされて、準備もなしに受験してしまいました。面接時も兄だけが先生と話し、私はただ「はい」とのみ答えたように記憶しています。後日、合格の連絡があり入学することになりました。

法政一中・一高時代はどのようにお過ごされましたか――

勉学にスポーツに情熱を注ぎましたよ、ただしなんとなくかな（笑）。中学時代は野球部で頑張りました。高校進学後も野球部に入部するのですが、他校からの部員との格差に驚き、特に1年先輩の田淵幸一さんの凄さにはびっくりし、数日後に退部してしまいました。

丁度その頃、兄が継いだ稼業で新しい事業としてボーリング場に木材を納入する仕事を始めていました。まだ東京に2ケ所しかボーリング場が無い時代です。私は後楽園のボーリング場に初めて連れていってもらいました。その時、アメリカの室内スポーツにカルチャーショックを受けボーリングに熱中し始めることになるのです。やがて腕は上がり東京都でもジュニアボーラーとして実力が認められ、ランキングも上位を占めるようになりました。アメリカのキャンプ地でボーリングの交流試合に参加した時には、アメリカ人の高校生の大きさとパワーにびっくりしました。その時初めてコーラ、ハンバーグ、ピザを食べ、またショックを受けました。こんな大人みたいなアメリカ人を相手に勝てるわけがないと思いましたが、何とか技術力で対等に戦えるようになり、高校生活で一番楽しい時期を過ごしていました。

青春時代をボーリングとともに過ごし、2期生のプロボーラーを目指しましたが、家業の手伝いをしているとき、不運にも利き手の中指・薬指を複雑骨折してしまい、夢は絶たれました。その時はボーリングも出来ず大学にも行けずお先真っ暗になりました。

ボーリングに熱中された高校時代だったようですね。卒業後は――

お茶の水に出来た新設校の東京デザイナー学院が生徒募集をしており入学しました。そこでデザインの勉強をし、卒業後はデザイナーとしてマネキン人形の製作会社に就職し、デパートのフロアーの展示や什器のデザインに従事しました。初任給が営業職より高額だったので感激し少し鼻高になっていたことを思い出します。

その後、父が漫画家の松下紀久雄さんと落語家の柳屋金五楼さん、江戸屋猫八さんなどと「日本日曜大工クラブ」を結成し、日曜大工の基を作り上げたのをきっかけに、父の仕事を手伝うようになり、日曜大工センターへの木材納入の仕事に従事するようになりました。

また東急ハンズ1号店が藤沢に出来た時は、木材売り場に今までにない種類の木材、工芸家や建築模型、彫刻材等の特殊木材を納入することになり、売り場の拡充の手伝いなどをしました。渋谷店がオープンする時にはデザイナー時代に養われた知識を基に木材の売り場作りに協力することになり、やがて現在のホームセンターの木材売り場の基礎となるレイアウトや商品構成を手掛け納材するようになりました。

その頃にテレビ出演のきっかけが出来たのですか――

その後、父の会社から離れ世界中の木材を取り扱う会社に就職し、銘木と呼ばれる木材を主体に建材、特殊内装材、工芸用材等を扱い木材の知識を得るようになりました。そして新木場で世界の木材の木工芸品を扱くウッディープラザの店長に就任し、その後、経営権を得ることになりますが、この頃からお宝鑑定団の鑑定士としての仕事の依頼がありましたが、その頃は新木場内での仕事も忙しく、TV出演は控えさせてもらい解説のみをしていました。しかし番組がメジャーになるにつれ再度の出演依頼が在り出演することになりました。

クスノキの瘤の衝立を鑑定するテレビ出演中の村山元春さん

人前で話すのは難しく、豊富な知識や話し方等をもっと勉強しないといけないと感じました。その後、出演する機会も増え、その度に新しい発見や知識を勉強することが出来ました。放送内でいかに木材の重要性や価値等、木材が人に与える役割や自然から得る恩恵などの話が出来るようになり、自分にとって有意義な仕事だと思うようになりました。

テレビの人気番組に出演するようになり、いかがでしたか――

デザイナー時代に家具や什器のデザインや家具製作をしたこと、ホームセンターなどに特殊材等の納入をしたこと、また再就職先での銘木の知識を習得したこと、新木場での木材業者より得た知識等が役立ち、年に数度はTV出演するようになってきました。最初のTV出演の時、さほど緊張することはないだろうと思っていましたが、収録時にスタジオで担当者から「気軽に」と言われ、そこで一言TVの視聴率を聞かされ、すごく多くの方々が見てくれていると知った瞬間、頭の中が真白になり冷や汗をかきながら何を喋ったかわかないまま収録を終えました。

これからの人生をどのようにお過ごしになりたいですか――

現在は自分のライフワークとして、そして木材のエキスパートとして、亡くなった兄とともに40年の長きにわたり得た現場での知識を基に、少しでも業界の方や木材にたずさわる方々の役に立てるようとの思いから、「木材大事典200種」を誠文堂新光社より発刊していただき愛読されているようです。

村山元春さんの著書

日本は国土の70％は森林で、世界でも珍しいたくさんの種類の木が生育している緑豊かな国です。古代より巨木信仰であったり、木造住居、木製生活器具等々身近な木をうまく利用して生活をしていた木の文化の国民であり、世界のどの国民よりも木への愛着があるといわれてます。その文化を守る為、自然が与えてくれる恩恵に感謝し、木を扱うものとして「木を活かし、木に生かされる」をモットーにして林業を含め木材業界、建築や木工業界の次世代に経験や知識の継承が少しでも出来たらと思います。

まだもう少し元気で頭と体が動くうちは、仕事に、そして好きなゴルフに頑張りたいと思います。

今日はお忙しいところ貴重なお話をありがとうございました。これからもお元気で益々のご活躍をお祈りいたします。

2020年度 法政大学高等学校 卒業式
令和3年3月13日(土)

今年度の卒業式は、新型コロナウイルス感染症予防対策により、卒業生231名（男性105名、女性126名）、保護者、先生、他若干名のみの参加で執り行われました。

岡校長の式辞に始まり、卒業生代表の答辞と感謝の言葉がありました。

昨年度に引き続き、コロナ禍の中で卒業式を挙行できた事を本当に喜ばしく思います。心からお祝い申し上げます。

（広報）

2021年度 法政大学高等学校 入学式
令和3年4月7日(水)

今年度は、新入生239名が入学しました。

松浦新校長の式辞で始まりました入学式は、新型コロナウイルス感染症対策のため、高校1年生担任団と一部教員、新入生1名につき保護者1名のみの参列となりました。

来賓は荒川裕子法政大学キャリアデザイン学部長においでいただき祝辞を頂戴いたしました。

校歌は例年ですとブラスバンド部の演奏で斉唱しますが、今年はCD音源の再生となりました。

（広報）

2014年3月～2016年3月に法政大学を卒業された法政大学高等学校同窓生の皆さまへ

「法政大学高等学校同窓会」へ所属組織の変更をお願いします

皆さまが大学卒業と同時に所属した法政大学校友会の年度同期会は5年で解散する期間限定の組織です。該当される方は「法政大学高等学校同窓会」へ所属変更することができます。

高校時代の想い出が詰まった母校を正式な所属先として、ぜひ変更手続きをお願いいたします。

変更を希望される方は、下記へご連絡ください。

法政大学校友会／03-3264-1831
jimukyoku@hoseinet.jp

法政高校同窓会／0422-79-6233
hoseimemory@ebony.plala.or.jp

【卒業後5年間】 法政大学校友会 年度同期会所属

→ 所属変更（卒業後5年を経過した方）

【今後】 法政大学 高等学校同窓会

教員

◆退職（2021年3月）
岡　稔彦（学校長・社会科）
髙橋　幸祐（特別教諭・国語科）

◆異動（2021年4月）
平野　哲也（専任教諭・社会科）法政大学第二中高へ
植竹　佑樹（専任教諭・国語科）法政大学第二中高へ

◆採用（2021年4月）
金子　千尋（専任教諭・国語科）法政大学第二中高より異動
小池　祐二（専任教諭・社会科）法政大学第二中高より異動
久木山　咲（専任教諭・社会科）
宝利　彩夏（特別教諭・国語科）

事務職員

◆退職（2021年5月）
濱田　裕嗣（事務長）

◆異動（2021年6月）
山田　佳男（事務長・中高課長より昇任）
小出　裕子（課長・多摩図書館より異動）
大谷　泰平（学務担当・中高総務担当より課内異動）
土屋　広康（総務担当・多摩経済学部資料室より異動）
鍋田　純子（市ヶ谷学務部教育支援課教育支援担当主任・中高学務課より異動）

物故者

元教諭
吉田　敬三　先生
2021年1月1日ご逝去
（享年92歳）
ここに謹んでご冥福をお祈りいたします

2020年度 報奨制度表彰生徒（卒業式表彰者）

＊成績優秀者奨学金
該当者なし

＊学年優等賞
6-4　三宅　俊輔

＊認定海外留学奨励金
6-5　鬼澤　咲由美

＊スポーツ、学術・文化等優秀賞
・音楽部　〝東京シンクローム〟
6-2　森　奏太郎
6-3　高畠　真優
6-3　水野　颯斗
・スキー部
6-5　田中　遥

＊東京都高等学校体育優良生徒
6-1　小林　雅治（ラグビー部）
6-6　津嶋　千早（硬式テニス部）

同窓会 年会費（年三千円）納入のお願い

同総会費の収入は、皆様方のご協力により年々増加しておりますが、一方、支出の方も学校協力費（生徒部活動支援等）、同窓会会報費など増えております。収支バランスには気をつけているつもりですが、財務状況はなかなか良くなりません。繰越金が年々減ってきています。

収入元は同窓会年会費と新卒業生の入会金だけです。今年度は会費納入に関係なく、同窓会会報は同窓生に（一万一千余）を発送致しました。

つきましては、この状況をご理解いただき、今年度も、同窓会年会費（三千円）のお振込みをお願い申し上げます。振込用紙は会報に同封いたしました。

（財務委員長　吉岡　郁典）